

## 令和8年(2026年)4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2026年4月 数量 (トン)	2026年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	茨城県・千葉県産中心の入荷で数量はやや減少した。昨年は高単価であったため平均単価は安く推移した。	574	111	97%	79%
2		キャベツ	神奈川県・千葉県産中心の入荷で数量は増加し、平均単価は平均並みであった。	882	115	113%	100%
3		トマト	熊本県・愛知県・神奈川県産中心の入荷で数量はやや減少、平均単価はやや高く推移した。	245	396	94%	104%
4		レタス	栃木県・茨城県産中心の入荷で数量はやや減少し、平均単価はやや高く推移した。	213	205	97%	106%
5		馬鈴薯	鹿児島県産中心の入荷で数量はかなり増加し、平均単価は昨年並みであった。	253	365	121%	101%
6	果実	その他柑橘	愛媛県産等中心の入荷で数量はかなり増加、平均単価は低く推移した。	292	318	139%	86%
7		りんご	数量はかなり減少した。平均単価は昨年並みであった。	90	460	64%	98%
8		いちご	入荷が少なく、数量は減少した。平均単価はやや高く推移した。	100	1,342	81%	107%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上